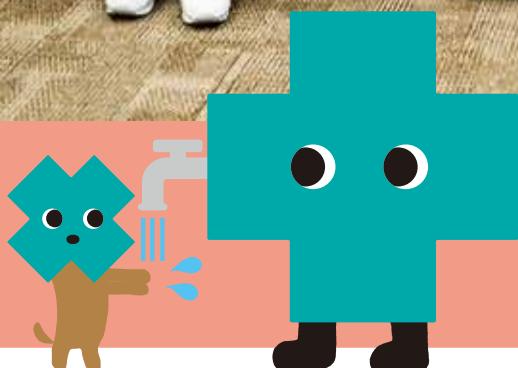


# 山の手だより

No.  
33TAKE FREE  
ご自由にお持ち帰りください

## 33号目次

まいにちから、  
まんいちまで。

難病診療センター活動報告 難病診療センター長 南 尚哉	2P
当院認定看護師の紹介 慢性呼吸器疾患認定看護師 深井 博昭	4P
手洗いの方法とハンドケアについて 看護師 工藤 綾栄	5P
北海道医療センターに隣接する北海道手稲養護学校三角山分校 教頭 池田 英司	6P
北海道日本ハムファイターズ選手の慰問 看護師長 市川 祥子	7P
クリスマスコンサート HMCアンサンブル	8P

# 難病診療センター活動報告

## ごあいさつ 難病診療センター長 南 尚哉

1

北海道より北海道難病診療連携拠点病院の指定、北海道難病医療提供体制整備事業の委託を受け、2020年5月、難病相談室から難病支援センター・難病医療相談室に改組しました。難病診療分野別拠点病院（札幌医科大学消化器内科）、道内21の難病医療協力病院および、神経疾患分野・炎症性腸疾患分野のネットワーク医療機関とともに難病医療体制の充実を図って参ります。皆様には御支援をよろしくお願い申し上げます。

2

## 難病診療センター・難病医療相談室の活動

- ①連絡会議運営：北海道難病医療連絡会議（拠点病院、難病医療協力病院）および分野別ネットワーク連絡会議の企画・運営、調査活動、参加病院との情報交換
- ②医療・療養相談
- ③研修会（医療従事者・関係者等向け）
- ④人材育成
- ⑤ホームページコンテンツの充実
- ⑥企業タイアップ講演会企画
- ⑦難病医療協力病院・保健所・難病対策地域協議会との連携
- ⑧その他いろいろ（ニュースレターで紹介予定）



3

## 2021年度実績報告

### ①連絡会議

#### 1.難病医療連絡会議（Web開催）：

21医療圏難病医療協力病院全施設参加42名 令和3年11月4日開催

2.神経筋疾患分野ネットワーク連絡会議：9月書面開催、令和4年3月5日予定

### ②医療・療養相談 医療療養相談延べ件数

令和3年4月～令和4年1月：158件（令和2年4月～令和3年1月：102件）

### ③研修会

「難病の日 記念講演会」「神経筋疾患を学ぶ～多系統萎縮症～」

「小児期発症慢性疾患を持つ患者の成人移行支援の実現」

「ALS療養の意思決定プロセスと在宅療養～コロナ禍における連携～」

「未診断疾患患者の早期診断～IRUDの取り組み～」

「難病患者の就労支援～治療と仕事の両立に向けて～」

### ④小児慢性特定疾病・在宅・移行期医療支援センター設置（2022年1月）

## ⑤企業タイアップ講演会

今年度からの新たな試みとして、企業とのタイアップで講演会を企画してきました。難病協力病院、保健所、分野別ネットワーク参加病院を主たる対象としていますが、訪問看護ステーションの方々などにもご視聴いただいています。超希少疾患の周知と、最近それらに対する画期的治療法が開発されたことに関する情報提供を目的としています。

## ⑥道内保健所・難病対策地域協議会との連携：Webミーティング開催

渡島保健所、江別保健所、稚内保健所、浦河保健所、旭川市保健所



\*「北海道SMA診療ネットワーク講演会」\*「市立稚内病院での神経内科診療・日常診療から世界初の発見まで」\*「筋ジストロフィーWebカンファレンス」\*「地域で支える難病診療連携 in Web ~難病の早期発見のために~」\*「遺伝カウンセリングセミナー in 北海道」\*「北海道CIDP研究」\*「コロナ禍における進行期パーキンソン病治療を考える会」\*「これからの多発性硬化症を考える会」\*「エブリスディイ発売記念講演会 in 北海道」\*「COVID-19の神経症状」\*「第2回北海道SMA診療ネットワーク講演会」\*「札幌ALS医療連携Webセミナー」\*「地域で支える慢性特定疾病治療～小児慢性特定疾患の早期発見のために～」\*「MS Next generation seminar in 北海道」

## 今後の活動のお知らせ

4

### ①企業タイアップ講演会

「神経変性疾患と慢性便秘症」 令和4年2月28日

### ②ホームページ YouTube「サロン・ド・PD パーキンソン病のおはなし」配信中

(第4回は視聴回数20,000回達成 令和4年2月現在)

他にも、多発性硬化症に関するコンテンツを用意していますので、興味のある方は是非、当院のホームページをチェックしてみてください。

### ③各診療科・部門との情報交換：来年度企業タイアップ講演会の企画

### ④RDD(希少疾患デー)啓発活動：北海道難病連との連携



# 当院認定看護師の紹介

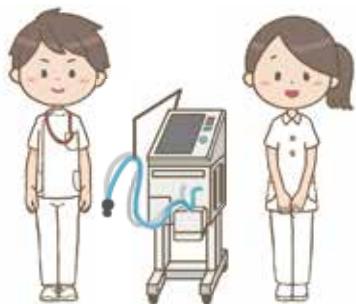


慢性呼吸器疾患認定看護師 深井 博昭

認定看護師とは、特定の看護分野において深い知識と熟練した看護技術を持っていると認められた看護師です。患者さまへの質の高い看護の提供や、看護実践を通して後輩指導などの役割を期待されています。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師の役割は、慢性呼吸器疾患を抱える患者さまとその家族の方に、呼吸機能の評価や呼吸管理を行うと共に、病状の悪化予防、社会復帰に向けたリハビリテーション等の支援を行っています。COPD(慢性閉塞性肺疾患)や間質性肺炎などの慢性呼吸器疾患患者さまは、息切れなどの症状により活動が制限され、このような状況は生活の質を低下させてしまう恐れがあります。患者さまが身体の状況を理解し、息切れが緩和できる動作や生活方法と一緒に考え、患者さまの思いを大切にしながら自分らしい毎日を送れるようなサポートを行っています。また、酸素療法や人工呼吸器についてなど院内の看護師への教育支援やHOT(在宅酸素療法)導入する患者さまへの支援、COVID-19患者さまへの看護も行っています。院外活動として現在はコロナ禍で行えていない状況ですが、地域の看護師や薬剤師への吸入療法の教育支援を行っています。

今後は院内での病棟看護師の指導に加え、地域の看護師と連携し、地域全体の看護ケアの質向上につながるような勉強会の開催や、病院と地域との橋渡しになれるよう役割を担っていきたいと思います。



# 手洗いの方法とハンドケアについて

看護師 工藤 綾栄

昨今、新型コロナウイルスの流行で、どこへ出かけてもアルコール消毒剤が置いてあるような状況です。当院でも外来や入院病棟、事務など、アルコール消毒剤はいつでも誰でも使用できるよう常備してあります。しかし、世の中にはアルコール消毒剤が効きにくい、ウイルスがあるということを皆さんにはご存知でしょうか。

例えば、お子さんがいるご家庭では聞いたことがあるかもしれない手足口病やブル熱の原因である「コクサッキーウィルス」や「エンテロウィルス」、「アデノウィルス」。冬によく聞く、「ノロウイルス」。よく風邪と診断されるようなウイルスの中にも、アルコールの効きにくいウイルスはたくさんあります。ウイルスから身を守るために、しっかりとした手洗いが必要です。

正しい手洗いの方法と汚れが残りやすい部分について、下記へ記載していますのでご覧ください。

また、何度も手洗いすることで手荒れが生じる可能性があります。手荒れの傷に石けんがしみて、手洗いがしきりできなくなることで、ウイルスを落としきれなくなることが考えられます。手の乾燥を感じたら、ハンドクリームで保湿をしましょう。

今こそ、手洗いの方法とハンドケアを見直すことで、ウイルスだけではなく、感染症からご自身・ご家族・ご友人・周りの人たちを守りましょう。

## 正しい手洗いの方法

1 流水で洗う



2 石けんを手に取る



洗い残しを  
しやすい箇所



3 手のひら、指の腹面を洗う



4 手の甲、指の背を洗う



5 指の間(側面)、股、  
付け根を洗う



6 親指と親指の付け根の  
ふくらんだ部分を洗う



薄いピンクは比較的注意、  
濃いピンク部分はしっかり  
注意して洗うように  
しましょう！

7 指先を洗う



8 手首を洗う（内側・側面・  
外側）





# 北海道医療センターに隣接する 北海道手稲養護学校三角山分校



教頭 池田 英司

三角山分校は、北海道八雲養護学校を前身とする学校で、国立病院機構八雲病院の札幌移転に伴い、令和2年8月に札幌へ移転した。また、2階には、市立札幌山の手支援学校があり、道立の本分校と札幌市立の山の手支援学校が共存している学校です。

現在は、11名の生徒が在籍しています。小学部の在籍はなく、中学部4名、高等部7名です。北海道医療センター西館病棟の入院生が本分校の生徒となっているため、神経筋疾患や重症心身障がいの児童生徒を対象としています。校舎は、5階建てで、2階が山の手支援学校、5階が三角山分校となっており、1・3・4階は、特別教室や各学校の職員室となっています。4階には、屋上庭園があり、西区のシンボルである「三角山」や札幌の町並みが一望できます。



【車いすスポーツ・Tボール】



【車いすスポーツ・ボッチャ】



【フィリピンとの遠隔学習】



【支援機器の積極的な導入】



【学校祭】



【就労体験学習】

本分校の生徒は、中学部・高等部合同で体育を行っています。車いすでできるように競技の方法やルールを変更して、どの生徒も参加できるように工夫して学習に取り組み、スポーツを年間を通して楽しんでいます。

本分校では、各教科の学習を進める中で、一人一人の障がいの状況に応じた支援機器を積極的に導入し、学習環境の向上に努めています。また、病院の理学療法士や作業療法士とも連携し、卒業後の生活を見据えた学習を行っています。

令和3年度は、ICT機器を活用した遠隔学習を積極的に行ってきました。フィリピンとの英語の授業、山の手支援学校・手稲養護学校との交流、近代美術館のリモート見学、札幌チャレンジド、Yahoo!Japanとの就労支援など、無料通話アプリ(Zoom)を活用して取り組んでいます。

# 北海道日本ハムファイターズ選手の慰問



看護師長 市川 祥子



2020年11月にコロナ病棟になって第3波から第4波、第5波を乗り越え、約1年が過ぎました。

この1年の間には毎日、複数人の入退院があり、数日で病棟が満床になった時期もありました。日々の勤務では、体の疲れより心が辛くなるときもありましたが大勢の方々から応援、激励の言葉やお心遣いを頂きました。皆さんのお心遣いに励まされ、頑張ることが出来ました。

このたび、2021年12月10日に、北海道日本ハムファイターズの中島選手と清水選手の2名がコロナ病棟で働く医療従事者を応援するため慰问に来て頂きました。

病棟スタッフ全員が会うことは出来ませんでしたが、ファイターズファン数名が病棟を代表し選手に会うことが出来ました。

選手を目の前にして実物のイケメンぶりと本物のプロ野球選手の体格に驚き予期せぬ写真撮影やサインまで頂き、大いにはしゃいでしまいました。今まで頑張ってきた甲斐がありました。勇気を頂きこちらこそありがとうございます。

これからも、「感染しない」「感染させない」「感染を持ち込まない」の気持ちでコロナに負けないよう頑張ります。





当院の職員有志で結成しているHMCアンサンブルです。

昨年1月にニューイヤーコンサートを開催したのち、新型コロナウィルス感染拡大を防ぐため、予定していたスプリングコンサートなどを中止していました。

12月20日に、西館に入院中の患者さんに向け、西館のリハビリ室で感染対策をしながらクリスマスコンサートを行うことができました。ホワイトクリスマスやジングルベルなどのクリスマスソングをはじめ、東京オリンピック2020の開会式でも演奏されていたファイナルファンタジーなど7曲を聞いていただきました。

夕方には本館外来ホールで中庭のイルミネーションをバックに演奏をさせていただきました。音楽は心の栄養ともいわれています。まだまだ感染対策は続きますが、また皆さんと一緒に楽しめる演奏ができる事をねがっています。



■発行所/独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター  
■発行責任書/広報室長 柴崎 跡也  
■発行日 2022年2月

札幌市西区山の手5条7丁目1-1  
電話 (011) 611-8111 / FAX (011) 611-5820  
ホームページ <https://hokkaido-mc.hosp.go.jp>

まいにちから、  
まんいちまで。  
 独立行政法人 国立病院機構  
**北海道医療センター**

**TEL 011-611-8111**

〒063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1番1号



<https://hokkaido-mc.hosp.go.jp>

北海道医療センター

検索

#### ●交通のご案内

地下鉄東西線  
**西28丁目**  循環西21 山の手線 北海道医療センター前 下車  
西21 山の手線 北海道医療センター前 下車

地下鉄東西線  
**宮の沢駅**  JRバス 西21 山の手線 北海道医療センター前 下車

地下鉄東西線  
**琴似駅**  JRバス 琴43 西野中州橋線 北海道医療センター前 下車

J R  
**J R琴似駅**  ■タクシーご利用の場合  
○JR琴似駅より\*\*\*\*\* 約1,200円前後  
○地下鉄琴似駅より\*\*\*\*\* 約1,000円前後

車で

■旭川・苫小牧方面より自動車ご利用の場合  
札樽自動車道新川インターから  
新琴似通り経由、山の手通り沿い

■小樽・余市方面より自動車ご利用の場合  
札樽自動車道札幌西インターから  
北5条手稲通り、新琴似通り経由、山の手通り沿い